

ご家族・ご本人・支援者のみ閲覧可

サポートブック UDA



はじめに

「サポートブックUDA」は、幼児期から成長に応じて発達の様子や特性・接し方について、かかわる支援者（園や学校の先生、事業所のスタッフ、ボランティアの方など）に知ってもらいたい情報をまとめるためのものです。

保育所（園）、こども園、幼稚園、学校、学童保育、利用する事業所、託児など、子どもにかかわる支援者や先生、スタッフさんに見てもらってください。

支援者と情報を共有することで子どものことをより知ってもらい、活動や関わるときのヒントにしてもらうことができます。

また、支援者や先生・スタッフさんと子どもの支援について、一緒に考えるきっかけとなることでしょう。

保護者の方が「サポートブックUDA」を必要な時に、伝えたいことを成長にあわせて書いていきましょう。学校や園の先生に学習や指導で工夫していることなど書いてもらうことも、成長をサポートしていく良いきっかけとなることでしょう。

お子さんの成長の記録となり、将来地域で生活していくときにも役立つことでしょう。

継続して記録し、何度も読み返すことで、子どもの今まで気づかなかった新しい一面を発見できるかもしれません。

情報を一冊にまとめたファイルは、生涯をとおして一貫した支援を受けるための本人・保護者・支援者を結ぶツール（道具）となります。

また、「サポートブックUDA」と一緒に支援に必要なと思われる情報（個別支援計画、診断書の写し、検査の結果、母子健康手帳等）をファイルに綴ってください。

子どもの支援に必要な情報を保護者と支援者が共有し、子どもが安心して快適に毎日を過ごせるよう、この「サポートブックUDA」が活用されることを願っています。

【 記入に当たって 】

- ① すべて書く必要はありません。本人にとって一番必要なところから書き出してみましょう。
- ② 「〇〇すれば、～できます」という具体的な書き方にしましょう。「～できません」という書き方では、支援者が何を手伝えればいいか分かりません。
- ③ 子どもの成長にあわせて、内容を更新しましょう。
- ④ 個人情報が多く含まれますので、取り扱いには十分に気をつけましょう。
- ⑤ 本人が見ることもあります。嫌な思いをすることのないよう書き方を工夫しましょう。

※このサポートブックは、『ひょうご自閉症・発達障害支援センター クローバー』作成のサポートブック等を参考に「宇陀市障害者地域自立支援協議会 子ども支援部会」により作成したものです。

(作成年月日: 年 月 日)

(写真を貼る)

ふりがな

氏名

(男・女)

呼び名

学校・園・所名

生年月日 年 月 日 才

血液型 体重

 連絡先(保護者など) 

優先順位①

名前



住所

優先順位②

名前



住所

優先順位③

名前

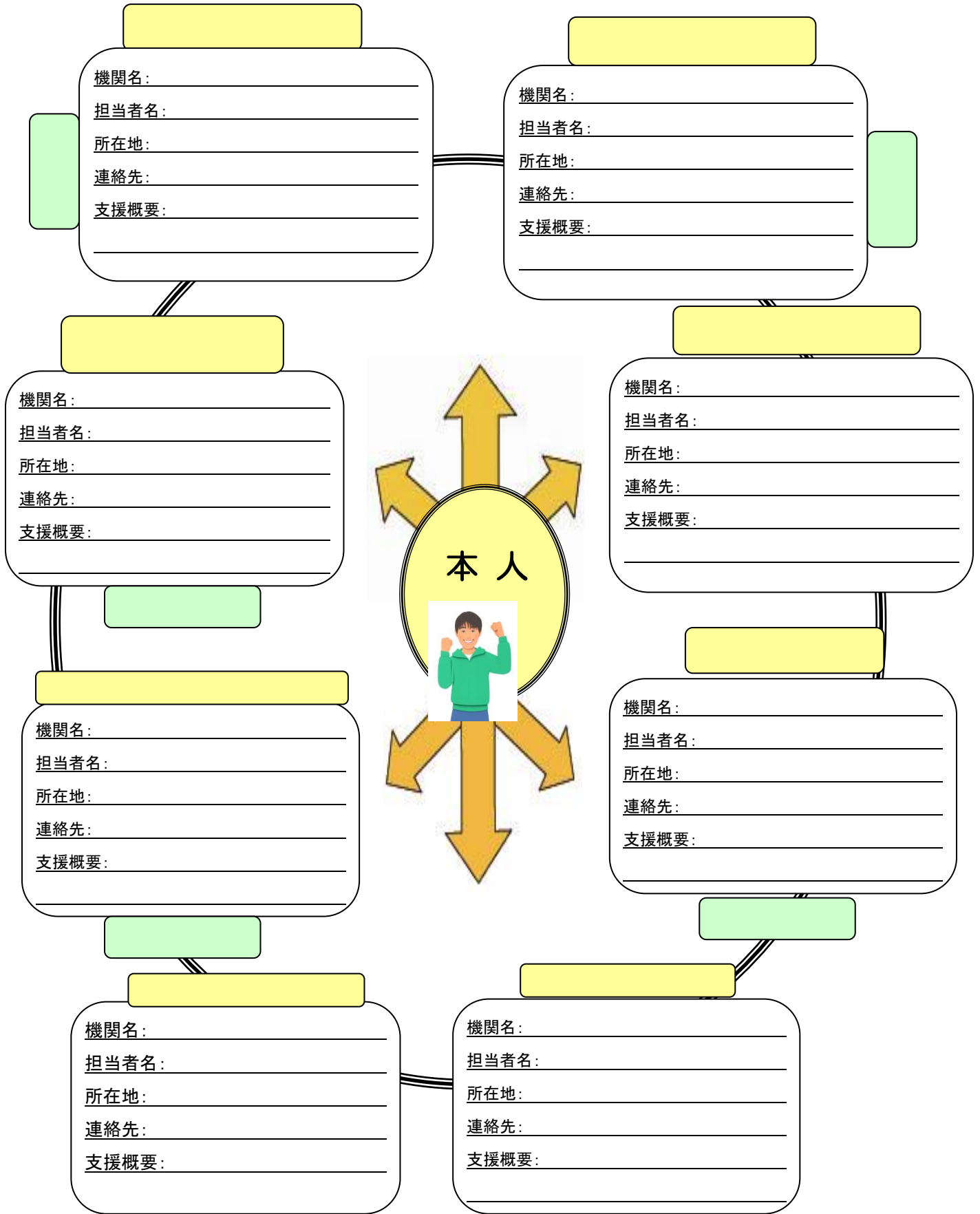


住所

サポート・ネットワーク

【なまえ: _____】

【令和 年 月 日(歳 ヶ月)現在】





緊急連絡先(医療機関など)



(内科・小児科・発作時など必要に応じて記入してください)

病院名

科

主治医



所在地

病院名

科

主治医



所在地

病院名

科

主治医



所在地



連絡先(学校・園など)

学校・園・所名

学年・組

担任名

学校・園・所 

所在地

私の特徴・自己紹介・診断名について

※ () 手帳をもっています。

○その他の主な疾病の記録

(てんかん発作・熱性けいれん・ぜんそく・アトピー性皮膚炎・アレルギー・先天性疾患・視覚障害・聴覚障害・吃音・言語障害・夜尿・チック・その他大きなケガ・病気等)

病名	① 症状 ② 治療期間 ③ 緊急連絡先・医療機関（ ）ページと同じ ④ 治療内容 ⑤ 服薬

※内容に変更があった際は、加筆修正を行うか、新しいシートで再作成してください。
(再作成した時、古いシートは捨てずに保存し、その上に新しいシートをとじてください。)

【持病・服薬・アレルギー】



① 症状

② 治療期間

③ 治療内容

④ 服薬(種類・回数・時間など)

【持病・服薬・アレルギー】



① 症状

② 治療期間

③ 治療内容

④ 服薬(種類・回数・時間など)

【持病・服薬・アレルギー】



① 症状

② 治療期間

③ 治療内容

④ 服薬(種類・回数・時間など)

【体調が悪いとき】



(しぐさ・様子・本人の表現の仕方対応方法など)

--



食べ物・水分補給・おやつ



【食べてはいけないもの 】

【好きなもの 】

【配慮点】

【きれいなもの 】

発達面に関する診断・検査の記録

実施時期 (年 齢)	機関名 (医師・心理士・保健師等)	相談内容・結果
年 月 日 (歳 か月)		
年 月 日 (歳 か月)		
年 月 日 (歳 か月)		
年 月 日 (歳 か月)		
年 月 日 (歳 か月)		
年 月 日 (歳 か月)		

(※)発達検査の結果(診断書・報告書)があれば、このページの後ろにはさんでください。(クリアファイルに入れたり、綴じたりしてください)

リハビリ・療育の記録

年月日	園や学校からの連絡等 (最近の様子・困ったこと・できるようになったこと)	家庭からの連絡 (最近の様子・困ったこと・できるようになったこと)	リハビリ・療育の実施内容(目的とプログラム)	家庭での取組

《 宇陀市療育教室 プチこあら について 》

心身の発達等に不安のあるお子さんの個々の状態に合わせた早期の療育教室です。
楽しく遊びながら子どもの育ちを応援し、遊びを通して言葉や心の育ちを支えます。

【 支援するスタッフ 】

保育士、保健師、相談員が中心となり、お子さんの状態に応じてグループ指導を行います。
臨床心理士、医療機関（医師・理学療法士・作業療法士、言語聴覚士他）等と連携をとりながら支援します。

【 支援・指導内容 】

遊び（運動遊び・感覚遊び・製作他）等を通して身体の発育、知的活動、情緒の安定や社会生活等の調和的発達を促します。保護者の方の悩みや相談に応じ、子育てを支援します。

場所 宇陀市人権交流センター1階
宇陀市菟田野古市場 1401-1

年齢 <1～2歳児> 月3回実施 毎週木曜日 午前10時～11時30分

【 お問い合わせは 】

宇陀市役所 介護福祉課

☎0745-82-3675 88-9088（IP電話）

宇陀市社会福祉協議会 プチこあら教室

☎090-9095-2667

《 主な障害児福祉サービスについて 》

【 児童発達支援 】

サービスの内容：療育の観点から日常生活の動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行います。

対象者：未就学の障害児（学校教育法第1条に規定する学校に就学していない18歳未満の障害児を含む）。療育手帳、特別児童扶養手当証書、医師の診断書のいずれかが必要。

【 放課後等デイサービス 】

サービスの内容：学校授業の終了後又は休業日において、療育的な観点から生活能力向上のための訓練等により、学校教育と相まって障害児の自立を促進します。

対象者：学校教育法第1条に規定する学校（幼稚園、大学を除く）に就学している原則18歳未満の障害児。療育手帳、特別児童扶養手当証書、医師の診断書（診断名において疑いは除く）のいずれかが必要。

幼児期(1・2・3・4・5・6 歳)の発育状況

(記入日： 年 月 日)

記入者：

本人との関係()

人のまねをする	(歳 か月ごろ)
意味のある言葉を話す	(歳 か月ごろ)
二語文を話す	(歳 か月ごろ)
会話をする	(歳 か月ごろ)
保育園	() 年 月 ~ 年 月まで
認定こども園	()
幼稚園	() 年 月 ~ 年 月まで
通園施設等	() 年 月 ~ 年 月まで
昼間の主たる養育者	
友だちや周りの人との 関わりの様子	
育てるのに心配だったこと	
コミュニケーションの方法 は	
好きなこと・得意なこと (こんなことができます)	
嫌いなこと ・苦手なこと	
保護者の願い	
トイレについて (配慮することなど)	

※内容に変更があった際は、加筆修正を行うか、新しいシートで再作成してください。
(再作成した時、古いシートは捨てずに保存し、その上に新しいシートをとじてください。)

就学相談及び教育支援委員会について

※年度によって実施時期・場所等は異なるので詳細はそのつど確認してください。

【 就学相談 】

※通常、市で行われている教育相談とは別に、この時期のみ（就学に関わって）実施される相談です。

【申込時期】 7月上旬 教育総務課へ（0745-82-3973）

※広報に掲載されます。各園・所・学校からお知らせもあります。

【実施時期】 7月下旬～8月上旬

【相談場所】 年度によって異なります。

※6月頃、教育委員会の担当者が各園・所・学校へ訪問して、子どもの実際の様子を観察する「訪問観察」を実施します。

※なお、相談は保護者のみ・先生同伴・子ども同伴等状況に応じて行います。家庭での様子、園・学校での様子をうかがいます。子どもの状態を見るために子ども同伴が望ましいです。

この段階ではあくまで相談（参考になる助言を聞く場）です。就学先を決定する訳ではありません。また、提出書類が揃っている必要もありません。但し、特別支援学校・特別支援学級入級を希望するにあたっては、教育支援委員会に向けた診断書・身体障害者手帳・療育手帳や発達検査の所見等の最新の書類がある方が望ましいです。よって、定期通院のない場合や手帳取得のない場合、転居の場合等は、現在は病院の診察予約自体が取りにくくなっているため、早めの対策・相談が必要となります。幼児期に支援が付いていたからと言って、小学校就学・中学校進学に当たり支援級入級が決定している訳ではないので注意してください。

また、通級指導教室（後述します）もありますが、通級指導教室への入級希望は教育支援委員会の対象ではありません。別の相談・手続きが必要となります。就学相談をご利用いただき説明をお聞きいただく事は可能です。通常学級をご希望の場合でも、お子様について気になる事がございましたら就学相談をご利用ください。

なお、特別支援学校への就学を希望される場合、宇陀市における手続きは同じですが、学校見学会及び個別相談等の対象者が決まっている場合があるのでご注意下さい。

【 宇陀市教育支援委員会へ向けての必要書類 】

- ① 教育支援委員会資料（園・所・学校→保護者へ）※教育委員会から必要な園・所・学校へ、9月上旬頃に配布されます。保護者の記入する様式を受け取り必要事項記入の上、園・所・学校へ提出します。
- ② 病院・専門機関での相談記録（診断書含む）※診断書等は一年以内のもの等の規定はありませんが、現在の状態を判断する為にも直近のものが望ましいです。
- ③ その他、就学指導の参考となる資料。

【提出期限】 10月上旬

市町村では、教育委員会の担当者と保護者・本人・関係者との直接の相談が可能ですが、最終審査機関である奈良県では書類審査のみです。入級に該当することを証明する資料がある方が望ましいです。（無いと入級が難しくなる可能性が高いです。）

これらを経て、宇陀市教育支援委員会へ向けて準備が進みます。

【 中学生に向けた進学支援 】

高等学校進学は義務教育ではないので、特に決められた支援や相談はありません。各自で、所属中学の先生方と個別対応にて早めの対応を心掛けてもらう必要があります。

【 教育支援委員会へ向けてのスケジュール 】

6月	各園・所・学校への訪問観察
7月下旬～8月上旬	就学相談
8月下旬	必要関係書類を各園・所・学校に配布
9月下旬	保護者→園・所・学校へ必要関係書類の提出
10月初旬	各園・所・学校より必要関係書類を宇陀市教育委員会に提出
11月	宇陀市教育支援委員会（審議）
12月上旬	宇陀市より結果通知（市教育委員会→園・所・学校→保護者）
12月下旬	保護者から入級願い提出（保護者→園・所・学校→市教育委員会）
1月中旬	奈良県教育委員会事務局へ書類提出
3月下旬	奈良県から、入級決定及び入級不可の連絡あり

【 通級指導教室について 】

「通級による指導」とは、大部分の授業を小・中学校の通常の学級で受けながら、一部、障がいに応じた特別の指導を通級指導教室で受ける指導形態で、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善し、又は克服するため、特別支援学校学習指導要領の「自立活動」に相当する指導を行います。

宇陀市においては、榛原中学校、榛原小学校を拠点に各校に巡回指導を行っております。



【 特別支援学校への進学希望の場合 】

(奈良県立二階堂養護学校〈小・中・高〉 奈良県立明日香養護学校〈小・中・高〉
奈良県立高等養護学校) **見学会・体験学習などに参加し学校を知っておくことが大切!**

※奈良県立高等養護学校は高等部のみの為、各中学校担当者及び高等養護学校までご相談ください。(電話 0744-32-7289 ホームページあり)

奈良県立二階堂養護学校

〈小学部〉	学校見学会	年中児の保護者・担任対象
	就学相談	新就学(年長児)の幼児と保護者・担任対象
〈中学部〉	学校見学会	小学校1～5年生の児童と保護者・担任対象
	就学相談	小学校6年生の児童と保護者・担任対象
〈高等部〉	学校見学会	中学校1・2年生の生徒と保護者・担任対象
	教育相談	中学校3年生の生徒と保護者・担任対象
	入学選考	

各園・所・学校を通してお申し込み下さい。

また、上記とは別に教育相談(学校関係者・本人・保護者)もあります。

実施時期・内容は各年度により異なります。

※詳細は奈良県立二階堂養護学校まで(二階堂養護学校ホームページあり)

電話 0743-64-3081

奈良県立明日香養護学校(肢体不自由教育部門・病弱教育部門)

〈小学部・中学部・高等部〉	学校見学会	5月頃
	体験学習	6月頃・11月頃
〈高等部のみ〉	入学願書交付・受付・選考を経て決定。奈良県教育委員会ホームページ・各市町村広報を参照。	

※詳細・教育相談は、奈良県立明日香養護学校・支援教育担当まで(在宅訪問教育もあり)

電話 0744-54-3380

☆聾学校・盲学校の場合は、各自お問い合わせの上ご相談ください。

【 個別の教育支援計画について 】

個別の支援計画とは、障がいのある幼児・児童・生徒一人一人のニーズを把握し、長期的な視点で支援していくという考えのもと、園・所・学校が中心となって関係機関(医療・福祉・労働等)と連携し、的確な教育を行うための計画です。

支援級所属の方及び園・所・学校・保護者が必要または希望される場合は、宇陀市内同じ様式での個別の教育支援計画を作成し、各園・所・学校間で引き継いでいきます。一学期内に作成し保護者に提示し押印することになっているので、夏休みまでにない場合は申し出てください。

転出・転入・専門施設からの進学・特別支援学校への進学等の場合は、保護者の了承を得て写しを進学先へ渡し、その後は進学先の様式に沿った支援計画を立てていただきます。

小学生(1・2・3・4・5・6 年生)の発達状況

(記入日： 年 月 日)

記入者：

本人との関係 ()

学 籍	() 学校 支援学級在籍 (あり・なし) () 学校 (年 月～)
出席の様子	休まない よく休む(理由：)
登校の様子	ひとりで通学 付添通学 スクールバス
交友関係	友だちと (よく遊んだ あまり遊ばなかった 全く遊ばなかった)
育てるのに 心配だったこと	
コミュニケーション の方法は	
好きなこと ・得意なこと (こんなことが できます)	
嫌いなこと・苦手な こと	
学習の工夫	
トイレについて (配慮すること)	

※内容に変更があった際は、加筆修正を行うか、新しいシートで再作成してください。
(再作成した時、古いシートは捨てずに保存し、その上に新しいシートをとじてください。)

中学生(1・2・3 年生)の発達状況

(記入日： 年 月 日) 記入者： 本人との関係 ()

学 籍	() 学校 支援学級在籍 (あり・なし) () 学校 (年 月～)
出席の様子	休まない よく休む(理由：)
登校の様子	ひとりで通学 付添通学 スクールバス (付き添い・ひとりで通学)
交友関係	友だちと (よく遊んだ あまり遊ばなかった 全く遊ばなかった)
コミュニケーションの方法は	
好きなこと ・得意なこと	
嫌いなこと ・苦手なこと	
学習の工夫	
自立生活していく上で心配なこと (思春期等)	
余暇の過ごし方	
トイレについて (配慮すること)	

※内容に変更があった際は、加筆修正を行うか、新しいシートで再作成してください。
(再作成した時、古いシートは捨てずに保存し、その上に新しいシートをとじてください。)

高校生(1・2・3年生)の発達状況

(記入日： 年 月 日) 記入者： 本人との関係 ()

学 籍	() 学校 () 学校 (年 月～)
出席の様子	休まない よく休む(理由：)
登校の様子	ひとりで通学 付添通学 スクールバス(付き添い・ひとりで通学)
交友関係	友だちと(よく遊んだ あまり遊ばなかった 全く遊ばなかった)
好きなこと ・得意なこと	
嫌いなこと ・苦手なこと	
こんな時、こう 支援してくれるとあ りがたいです	
学習の工夫	
自立生活していく上 で心配なこと (思春期等)	
余暇の過ごし方	
トイレについて (配慮すること)	

※内容に変更があった際は、加筆修正を行うか、新しいシートで再作成してください。
(再作成した時、古いシートは捨てずに保存し、その上に新しいシートをとじてください)

年齢に応じて記入



外出・移動



徒歩(配慮していること)

- 手をつないで歩いてください
- 飛び出すことがあります

- 一人で安全に歩けます
- 信号は理解できません

車・タクシー(配慮していること)

- 座る位置が決まっています

- シートベルトはできません

電車・バス(配慮していること)

- 切符は買えません

- 車内に好きな場所があります

- 車内で大きな声を出すことがあります

- 必ず座りたいです

その他(配慮していること)

○記入更新日時：

こだわりやパニック

●きっかけ・行動

●対応

○記入更新日時：

きがえ 配慮していること

●着る

●脱ぐ

●お風呂・プール・シャワー

○記入更新日時：

就寝・起床・洗面・歯磨きで配慮していること

●就寝

●起床

●洗面・歯磨き

○記入更新日時：

メモ

○記入更新日時：